

県下の交通事故 (11月30日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
57年	3,538件	97人	4,614人
58年	4,182件	119人	5,368人
比較	+18.2%	+22.7%	+16.3%



◆第62号◆
発行所
甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552)37-7827



信号無視は大事故をまねく

交通事故防止県民運動

12月20日～1月10日

「無事故の灯」を みんなの心にもそとろう

年末年始は、車や人の動きがあつたばかりで、交通事故の多発が予想されます。このため県交通安全協会・県交通安全推進協議会の主催で、十二月二十日から一月十日まで「年末年始の交通事故防止県民運動」が実施されます。最近、県内の交通事故死者は著しく増加し、このまま推移すれば、昨年を大幅に上回る事が予想されます。これ以上死者を出さないために県民あげてこの運動に取り組み、歯止めをかけるようにしましょう。

年末年始

飲酒運転を 絶滅しよう

- ### 運動の重点
- 一 子供・老人など交通弱者の事故防止
 - 二 飲酒運転の絶滅
 - 三 シートベルト・ヘルメット着用の促進
- ### 子供と老人など交通弱者の事故防止
- 子供、老人の事故がふえています。こんなことが危ないので注意しましょう。

運転者のみなさんへ

子供や老人は「急な急な急な」といふのが、車の直前、直後の横断、など予測しなさい行動を。歩行者・自転車は、車の接近に気づかない。

安全のために

筆者は毎日自分で車を運転して自在に研究して通って... 所要時間は二十五分から五分程度で、電車で一時間かかるのよりも早いし楽でもある。事故を起さないためには何が大切なのかという事を研究しながら毎日ハンドルを握っている。

ここではこのような毎日の研究の積み重ねの上に立つて、筆者の運転法を頭に描きながら記述してみたいと思つた。

☆「とっさの場合」の修練と事故

とっさの場合のハンドルやブレーキの操作が上手だというのは必ずしも、そのまま無事故運転につながるものではないと思つている。毎日とっさの場合を巧みなハンドル操作とブレーキさばきでくり抜けるようでは、そのうち名人の手からも水が漏れたり、猿も木から落ちるといふことになるのである。

昭和59年交通安全年間スローガン

最優秀作

危険です その信号の変わりばなことも向け

自転車も のれば車のなかまいり

運動は 気づばり目くばり思いやり

歩行者・自転車向け

運転者向け

少し遠くても横断歩道や橋下歩道を渡る。自転車利用者のみなさんへ

○正しい自転車の乗り方を励行する。
○自転車安全整備士のいる自転車安全整備店で自転車の点検整備を受け、Tマークをつける。

○忘年会・新年会等には車を走らさないようにする。
○運転するならば飲まない

飲酒運転による事故が多発しています。こんなことに注意しましょう。

○忘年会・新年会等には車を走らさないようにする。
○運転するならば飲まない

運転ミスはどう防ぐか (1)

東京大学名譽教授 平尾 収

あろうか。「とっさの急の場合」といふのであれば、これは差し迫った場合といふことになる。また「とっさの間にハンドル、ブレーキの操作を行う場合」といふのであれば「瞬間の間に認知・判断・操作を行う場合」といふことになる。

前者だとすればこのときドライバーは「ハット・ヒヤット」して急ハンドルと「とっさの場合」といふ事態を避けることがまず安全を守る基本となるはずである。

「とっさの場合」をうまく処理する技をみかくこと、これが、実用の上でこの技を使うようでは安全なドライバーとはいえないと思つた。

とっさの場合の技を使わないでもうゆうと走れる技、すなわち「とっさの場合」

急ブレーキを使ったに違いはないのである。後者だとすれば、相手は当方の急ハンドル、急ブレーキに「ハット・ヒヤット」して、一瞬、肝を冷やしたに違いないのである。いずれにしても「瞬間的な事象」といふことになるはずである。

万に一つも事故を起し結ぶのである。そのためには情報の見落としとヨミ合」を常に避ける技、これこそが本物の安全技術だと思つた。

これはとりもなおさず、自分も「ハット・ヒヤット」しないし、相手にも「ハット・ヒヤット」させない技なのである。

「とっさの場合」の追放こそが「事故」の追放に直結するのである。そのためには情報の見落としとヨミ合」を常に避ける技、これこそが本物の安全技術だと思つた。





優秀賞を受ける南甲府・塩山安協代表者

優秀賞は南甲府・塩山安協

100人に交通栄誉章・緑十字銅章

県警察本部と県交通安全協会主催の昭和五十八年度交通安全功労者、優良運転者等の表彰式が、十一月二日、県農業共済会館大ホールにおいて、県知事代理・功刀隆県民生活局長、島津庄次県議会議長をはじめ、多数の来賓臨席のもと盛大に行われました。

表彰式は、まず全員で交通事故犠牲者に黙祷を捧げ、西村勝県警察本部長と中村太郎県安協会長の代理・吉田文男常任副会長があいさつをしたあと表彰が行われました。

受賞者は、多年にわたり交通事故防止に功績のあった交通安全功労者、長期にわたり効果的な交通安全活動を通じて交通安全活動から交通安全協会や功労のあった交通安全協会や功労のあった役員、永年無事故無違反で他

交通安全功労者、優良運転者等

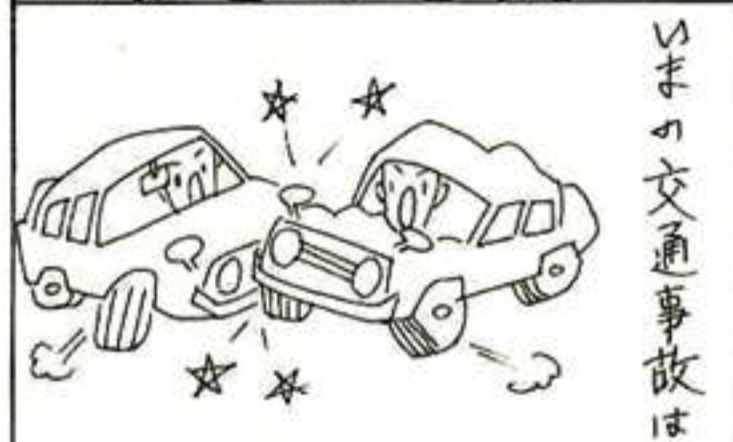
四六七人と二四団体表彰

の横断とされる優良運転者多年職務に精励し功績のあった優良職員等、その数は、四百六十七人と二十四団体に達しました。

受賞者の中には、増加する女性ドライバーの交通安全に貢献した女性ドライバーの会、事業所をあげて安全対策を推進している企業、お年寄りを事故から守る高齢者交通安全クラブなどの団体や、子供クラブを中心

に交通安全に取り組んでいる学校、また、交通安全を願って献身的な努力を続けている方がたなど、それぞれの立場で地道に活動している多彩な団体や個人の皆

おんせん一家



いまの交通事故は



ルールを守らない



マナーが悪いばかりじゃない



危険性に対する判断が甘い

手塚延太郎氏 表彰



総理府は、九月二十二日東京都千代田区の総理府講堂で、全国の交通安全功労者、個人十四人と五団体に

表彰を行いました。手塚氏は、昭和十七年から現在まで率先して地域の交通安全のために街頭指導に従事し、交通安全運動をはじめ各種行事には積極的に交通安全等を行ない、また識の高揚に尽力しており、その功績が認められたものです。

秋の叙勲に輝く



小林 敬二氏

安全活動に尽力して、ますますが、都留市議会議員、県議会議員を歴任し、地方自治振興に大きく貢献し、その功績が認められ受賞したものです。



金丸 平甫氏

県安協評議員の金丸平甫氏(中巨摩郡白根町上今諏



藤野 要氏

功、七十三歳)は、勲五等瑞宝章を受賞しました。金丸氏は、昭和三十二年四月から甲府安協理事、同年五月県安協評議員に就任し、交通安全協会の育成に尽力して、昭和八年から鉄道省、戦後は、運輸省、陸運事務所勤務、所長で退官して、県バス協会専務理事として現在に至っています。運送事業に五十年、この道一筋に尽力した功績が認められ受賞したものです。

藤野氏は、昭和四十二年から大月安協副会長、同五十二年二月同協会会長、県安協理事に就任し、交通安全活動に尽力して、昭和二十九年から家業の塩

山梨県交通安全協会会員のための災害共済のお奨め

万人は一人のために 一人は万人のために

※保険会社の職員が内容説明に伺います

提供団体 山梨県交通安全協会

引受会社 **協栄生命**

甲府市丸の内三丁目20-3
TEL (0552) 22-4836(代)

由、奈良八十八、山崎秀一、白鳥民蔵、市川信夫、中村隆信。

○優良運転者
今川春雄ほか二五三名

○優良職員
石井達ほか三名

交通安全対策を発動

十月二十八日

十月二十日
県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会は、昨年八月三日決定した「交通安全対策要綱」に基づき、十月二十八日から十一月二十日までの二十四日間「全県交通安全対策」を発動するとともに、「非常事態宣言」を発表し、望月山梨県知事が談話により、交通安全事故防止を県民に強く訴えま

明、早河正弘、棚本太郎、角田海原、渡辺昭、渡辺武山中芳次郎、山口義仁、萩原卯平、坂本民治、石川外史子、金子淳夫、萩原辰雄、笠井邦彦、宮本植三、小野敏太郎、森嶋伸治、上原一洋、佐藤新造、小林英雄、長田朝春、渡辺正輝、三浦徳市、天野良一、天野覚、渡辺加吉、田辺孫一、志村照男、林岩夫、梶原吉郎、井上博、鬼島弘典、畑野春

谷戸かしみさん(泉中)が優勝

中学生交通安全弁論大会



交通安全を訴える中学生

第二十五回山梨県中学生交通安全弁論大会は、県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社の共催により十月十八日甲府放送局において開催されました。

大会には、県内各地区の子選大会で選ばれた十七名の選手が出場し、七分の持ち時間で交通安全について体験したことや、日ごろ考えていることを発表しましたが、とくに論旨や表現

態度などが年々向上していることが目立ちました。審査の結果、「ゆとりある心で」と題して、交通安全意識を高め、心にゆとりを持って訴えた大泉村立泉中学校三年、谷戸かしみさんが優勝し、優勝旗と知事賞を受けました。

北東) 県教育長賞 山形 香織(城南) 前田賢治(梨大附属) 以下出場順 長田満里子(甲府北東) 和光美佳(大月東) 清水久美子(御勸原) 小山剛司(下部) 藤原一之(増富) 秦かおり(吉田) 三浦純子(万沢) 矢口輝美(松里) 窪川美華(山梨南) 小俣さゆり(秋山) 古瀬村圭子(上野原) 高野ゆかり(石和)

団体5位に入賞

一 般 A クラス 後藤選手優勝
高 校 生 ク ラ ス 小菅選手4位
二 輪 車 安 全 運 転 全 国 大 会

第十六回二輪車安全運転全国大会は、八月二十日、二十一日の両日、三重県の鈴鹿サーキットで行われました。この大会は、日常原付車自動二輪車の安全運転に努めている女性ライダーをほ

じめ高校生、一般ライダーを対象に、日ごろの安全運転ぶりを競いあうもので、本県からは、県大会で優勝した女性クラス、望月小夜子(甲府)、高校生クラス、小菅秀樹(石和)、一般Aクラス、後藤克己(御坂)

後藤選手優勝

一 般 B ク ラ ス 三 枝 久 (御坂) の各選手が出場しました。競技は各都道府県の子選大会で優勝した女性四十七人を含む百八十七選手による、法規履行走行と整地コースのA走行、不整地のB走行の三つの種目で技を競い争いました。本県選手はよく健闘し、一般Aクラスの後藤選手が九七〇点の高得点で見事優勝し、高校生

二輪車安全運転推進委員会

十月六日、十三日の両日、県交通安全センターで二輪車安全運転指導員講習会を開催しました。この講習会は、指導員の資質と指導能力の向上を図るために実施されていますが、今回は、指導員と準指導員を分けて二回にわたって、県警試験場長の指導のもとに特別指導員を講師に招き、原付車と自動二輪車の安全運転指導要領の実技を重点に講習しました。

新規購入 映画の紹介

山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料で貸し出しします。ご利用ください。一 なくそう ぼくらの交通事故

山梨県警察本部より お知らせ

優良運転者の免許更新が便利になりました。県警では、優良運転者の利便を図るため、八田村の運転免許課と都留分室に高速で免許証が作成できる装置を導入しました。これにより、従来約一時間を要した免許証の作成が一〇分程度でできるようになりました。この機会に二回目以降の更新の方で更新前三年間無事故、無違反で過ごされた優良運転者の方を対象に、免許証の更新手続きの受付時間を午前八時三十分～十一時三十分まで、午後一時～三時まで延長し、この間はいつでも受付を行うことにしました。

二輪車指導員講習会を開催

県二輪車安全運転推進委員会(吉田文男委員長)は、

三千八百二十九人、これはいったい何の数字だと思いませんか。三千八百二十九人。これは、春の全国交通安全運動がスタートした昭和二十三年から、県内で交通事故の犠牲となつて亡くなられた人の数なのです。私の住む大泉村の人口は三千五百七十一人ですから、数の上では村が全滅したことになるのです。

このように、犠牲者の数を身近な例にとらえてみますと、その悲惨さは、いっそう現実味を帯びてまいります。

さか指摘されなければなりません。この事を実例で述べてみましょう。私たち泉中学校には、生徒会長を団長として、交通安全少年団という組織があります。この交通安全少年団の活動の一環として、村内の交差点で交通指導をしたり、調

者百七十一人、着用率十六%という実態でした。あまりの低さに、驚き、代表者が役場へ行って村長さんと話し、意識を高める運動の展開をお願いしたのです。五十八年春、つまり本年も同様に調査したところ、シートベルトの着用率は、

みずから運転する人たちがこの無関心さでは、尊い願いの低さは、驚き、代表者が役場へ行って村長さんと話し、意識を高める運動の展開をお願いしたのです。五十八年春、つまり本年も同様に調査したところ、シートベルトの着用率は、

なりの長距離を車で通勤している人だそうですが、朝の出発時には、必ず二十分の余裕をみて家を出るとの事です。また帰りに、仕事の間で疲れている時にも、多少帰宅時間が遅くなっても、職場で休養をとってから車を乗り出すということ。この人は、もう十五年以上も経験をもつドライバーですが、もちろん私はこの話を聞いて、心の底から感銘を受けました。この余裕、このゆとり、この余白、このゆとり、このゆとりこそ、職場でも、きつとすればらしい仕事をし

これこそ、交通事故防止の原点であると思われてなりません。ドライバーの皆さん、心にゆとりを持ちましょう。ゆとりを持って運転すること。それが命を守ることにつながっていることを決して忘れないでください。あなたの運転の陰に、最愛のわが子、わが妻がいることを忘れなさい。全国を走るドライバーがすべてこのような、ゆとりのある心、ゆとりある心で運転するならば、事故ゼロの願いもきっと実を結ぶことではないでしょうか。

私はまだドライバーの資格がありませんが、十五歳の中学生として、友人に、兄弟に、親に、ゆとりある心を持ちましょう。と働きかける日々でありたいと願っています。

ゆとりある心で

泉中 谷戸 かしみ



この平和な時代に山梨県で、一つの村が全滅する。これこそ、あの憎むべき交通戦争と呼ばれるものの実態ではないでしょうか。さて、事故多発の原因の一つとして、特に車をみずから運転するドライバーの交通安全に対する意識の低

さをしています。そのうち昭和五十七年春と、五十八年春の、シートベルトの着用率について述べてみます。五十七年春には、朝の七時四十五分から八時五十分までの二十分間、日数は九日でしたが、通過車両数千八十六台、シートベルト着用

昨年と全く同じで十六%という結果でした。皆さん、これが交通事故防止のため、県民総ぐるみで立ち上がらなくてはならない非常事態の中での実態であります。県から、村から、関係機関から、いくら事故防止の働きかけをしても、

であることを決して忘れてはなりません。このことは過去における悲しむべき交通戦争の実例が、はつきりと私たちに教えてくれているところなのです。ところで、いつの事でしたか、私はこんな話を耳にしたことがあります。その人はか

なりの長距離を車で通勤している人だそうですが、朝の出発時には、必ず二十分の余裕をみて家を出るとの事です。また帰りに、仕事の間で疲れている時にも、多少帰宅時間が遅くなっても、職場で休養をとってから車を乗り出すということ。この人は、もう十五年以上も経験をもつドライバーですが、もちろん私はこの話を聞いて、心の底から感銘を受けました。この余裕、このゆとり、この余白、このゆとり、このゆとりこそ、職場でも、きつとすればらしい仕事をし

これこそ、交通事故防止の原点であると思われてなりません。ドライバーの皆さん、心にゆとりを持ちましょう。ゆとりを持って運転すること。それが命を守ることにつながっていることを決して忘れないでください。あなたの運転の陰に、最愛のわが子、わが妻がいることを忘れなさい。全国を走るドライバーがすべてこのような、ゆとりのある心、ゆとりある心で運転するならば、事故ゼロの願いもきっと実を結ぶことではないでしょうか。

私はまだドライバーの資格がありませんが、十五歳の中学生として、友人に、兄弟に、親に、ゆとりある心を持ちましょう。と働きかける日々でありたいと願っています。



なお、詳しいことは運転免許課(電話〇五五二八五五〇三三)か、都留分室(電話〇五五四四一三三)にお問い合わせください。

交通事故ゼロの願いをこめて、昭和五十九年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品（一面掲載）と佳作は、次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

佳作（全日本交通安全協会会長賞）

◆運転者向け

しめていますかシートベルト
ゆるんでいませんか安全意識
一呼吸置きます 待ちます 譲ります
マナーよし 車間距離よし 速度よし
運転は あなたの顔です 心です
ついそこと 言はずにつけよう ヘルメット
あせるまい 急いで事故より マイペース
忘れない ルールとベルトと ヘルメット
ちよつとした あなたの気づきより 防ぐ事故
広げよう 心のゆとりで 安全運転
やさしさも 一緒に乗せませす 安全運転

◆歩行者・自転車向け

ちよつと待て 青信号でも ひと呼吸
語り合う 車社会を わが家から
止まる見る 待つ安全を わが子にも
止まる見る 待つ安全を わが子にも
かばう手に 愛が伝わる せまい道
しかるより 教える一言 良い手本
仲よしも 自転車乗るのは、一人ずつ
安全は 心で注意 目で確認
待つてから たしかめてから 渡るくせ
まず確認 心で一度 目で一度
叱つて下さい うちの子も
片手ハンドル二人乗り

◆ことも向け

ひとりでも よい子を守る 交通ルール
みえますか おうどんはどうで 右左
大きい手 小さい手
しっかりとあげよう わたるとき
とび出しは 一番いけない事故のもと
赤い顔 事故をおこして青い顔
止まってくれおこして青い顔
自分が止まろう交通安全
赤信号 すーばーまんでも 止まります
ほくたち みんな待ってるよ
無事故で帰る お父さん
おつとまった おおきなおめめで みぎひだり
いそぐな はしるなとびだすな
けがして なくより わらって ちゆうい

昭和59年交通安全週間

地区だより

秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日まで十日間、全国一斉に実施し、県内においても関係機関・団体の尽力により、各地で多彩な行事や交通安全啓蒙活動を展開することができましたが、関係者の期待に反し期間中の交通事故は、九九件、前年比一三・八人、一・五％増、死者は、六人、前年比四人、二・〇〇％増、傷者は、二二六八人、前年比一八・九％といずれも増加し、とくに死者は三倍の増加となりました。これは道路利用者の基



図ラつた合意の通高安意識交高揚をクラッの通高安意識交高揚をクラッの通高安意識交高揚をクラッ

交通安全写真展

交通安全写真展は、交通安全の啓蒙を目的として、交通安全協会主催、県警本部、山梨日日新聞社、後援の第十七回交通安全写真コンテストは、八月三十

交通安全写真展

交通安全協会主催、県警本部、山梨日日新聞社、後援の第十七回交通安全写真コンテストは、八月三十

交通安全キャラバン隊 県内キャラバン

県交母連

全国交通安全母の会連合会の全国キャラバン隊は「みんなですめる交通安全」をテーマとしたキャンペーンを展開していますが、こ

交通安全写真展

交通安全協会主催、県警本部、山梨日日新聞社、後援の第十七回交通安全写真コンテストは、八月三十



マナーを守って 安全走行

中央高速道 高速道路は、全国で、三〇〇キロメートルを超え、経済上の大動脈であるとともに、日常生活にも密着した道路として重要な役割を果たしています。

交通安全写真展

交通安全協会主催、県警本部、山梨日日新聞社、後援の第十七回交通安全写真コンテストは、八月三十



高校生クラスの事故多数に対処するため、管内高校生の中から模範ライダーを指定し交通安全の輪を広げた。(南甲府)



「おじちゃん安全運転してね、僕達も、きちんと歩きます」幼稚園児の交通安全PR (大月)

すきな人 宮野 貞 作詩 望月吾郎 作曲

毎日会社の 行き帰り シートベルトを 身にまとい 自動車運転 朗らかな あの人わたしの すきな人 あの人わたしの すきな人

すきな人 宮野 貞 作詩 望月吾郎 作曲

毎日会社の 行き帰り シートベルトを 身にまとい 自動車運転 朗らかな あの人わたしの すきな人 あの人わたしの すきな人

(1)「安全速度」を守る (2)十分な「車間距離」をとる (3)「割り込み」をしない (4)「わき見運転」をしない (5)「路肩を走行」しない

九件、死者一〇人、傷者一七七人、物損事故四四六件であり、昨年同期と比較して、人身事故四六件八七％増、死者四人六七％増、傷者七三人七二％増、物損事故二二件三三％増といずれも増加しています。これらの、事故原因をみると、高速走行に不慣れた運転者の速度の出すぎや、ハンドル、ブレーキ操作の不適當などの事故が多発しています。また高速走行中は、気象状況や路面状態が運転操作に大きな影響を与えます。